

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 30. 11. 22 第 197 回国会第 7 号

11 月 22 日（木）、第 7 回の委員会が開かれました。

1 漁業法等の一部を改正する等の法律案（内閣提出第 8 号）

- ・吉川農林水産大臣、濱村農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。
- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。

（質疑者及び主な質疑内容）

古川康君（自民）

- ・漁業法等の一部を改正する等の法律案の提出に至る経緯はどのようなものか。
- ・水産政策の改革に係る説明会では、どのような意見が出たのか、意見を受けて法案に盛り込んだ内容はあるのか。
- ・平成 31 年度水産関係予算の確保に向けた吉川農林水産大臣の決意を伺いたい。

木村次郎君（自民）

- ・新たな資源管理システムでは、資源管理をどのように強化していくのか、その狙いは何か。
- ・水産政策の改革を進めるに当たり、漁協に期待する役割は何か。
- ・密漁被害の現状をどのように認識し、どのように対策を強化していくのか。

稲津久君（公明）

- ・新たな資源管理システムの導入に当たっては沿岸の小規模な漁業者に対する十分な配慮が必要ではないか。
- ・都道府県知事が漁業権を付与する者を決定する際の判断基準のガイドラインを国はいつまでに示すのか。
- ・漁協に公認会計士監査を導入することで新たな負担は生じないのか、また、これまで全漁連による監査が果たしてきた役割をどのように評価しているのか。

森夏枝君（維新）

- ・法改正により、今後の漁業の姿はどのように変わると考えているのか。
- ・新たな資源管理システムの導入は現場の漁業者にとってどのようなメリットがあるのか。
- ・水産政策の改革に係る説明会において、現場からは具体的にどのような声があったのか。